

## 支部だより

2022/5/26 No.33 東京支部事務局

### 引き続きコロナ禍の中での支部活動報告

新型コロナの感染者数は、年初の高水準維持から、大幅に減少してまいりましたが、最近また徐々に増加するのではないかと恐れられ芳しくありません。

そのような状況で、東京支部としては、安全に配慮しながら、可能な限り活発な支部活動に努めたいと思っております。

さて、本年第1回の定例研究会は、3月12日(土)にリモートで実施しました。この時点では、新型コロナ感染者数がまだまだ高水準であったためです。

なお、リモート対応できない方には添削で対応しました。

講師:山口高志氏 出席者:21名+リモート対応できない方1名は添削で対応

例会では、事前に一人作品5点を事務局に提出していただき、リモート時の回線に過剰な負荷をかけないように画素数1000万画素に調整して、全作品をGoogleのマイドライブで山口先生に送り、事前に作品の確認をしていただきました。

講評は、一人作品5点を割り当て時間7分+ $\alpha$ 、各人の作品から金、銀2点を選び、10人が終わったところで、10分の休憩を入れました。全体の講評終了後、10分の休憩を入れ、優秀作品8点の紹介をしました。

13時頃から開始し、17時前に終了しました。

なお、作品は提出したが、都合でリモートに参加できなかった方が一人おりました。その方には、その方の部分についてデジタル録音をして、終了後mail添付で送りました。

リモートではありましたが、久しぶりの例会で、山口先生の明快な講評をいただけて良かったと思います。次回は会場での定例研究会ができることを祈っています。

4月2日には、撮影会担当の菅澤さんの案内で、春真っ盛りの昭和記念公園での日帰り撮影会が実施されました。これは、20周年記念作品展で企画されている「東京の風景」用の作品作りを期待して企画されたもの

です。

さて、昨年末、様々な事情で退会者が数名発生しましたが、今年に入り、2月に中島美保さんが、5月に伊藤洋さんが入会されました。

中島美保さんは、埼玉県上尾市在住で、フォトコンに何回か入選されているそうです。撮影にとっても熱心に取り組まれているようにお見受けします。伊藤洋さんは、東京都武蔵野市在住で、地元写真倶楽部で活躍されていたようですが、さらに撮影技術の向上を目指されております。お二人の今後のご活躍を期待しています。

当分、新型コロナは収束する気配がありませんが、東京支部の皆さんは、必要なコロナ対策をしながら、ご自分の撮影活動に励まれることを期待しております。

(文責 井上 武夫)

### JNP 東京支部 春の日帰り撮影会

4月2日土曜日に、立川の昭和記念公園において東京支部「春の日帰り撮影会」を実施しました。東京支部の今年のテーマである「東京の風景」に従って、都内の公園で桜などをメインに撮影しようという企画です。企画時には今年は桜の開花が早いとの予想があり、満開を少し過ぎた頃になるかと考えていましたが、直前の低温が幸いしたのか、満開の桜が出迎えてくれました。参加者は9名と少なかったのですが、天候にも恵まれて、開園直後から昼過ぎまで、思い思いの撮影を楽しむことが出来ました。ただ、満開の桜につられたのか、人出も予想以上に多くて大変でしたが…。成果はいかがだったでしょうか？

参加者9名 ※ 井上さん 小川さん 佐藤(直)さん 須加尾さん 菅澤さん 鈴木(暎)さん 藤野さん 与謝さん 渡邊(勝)さん (文責 菅澤光裕)



## 新たな仲間紹介

皆さんこんにちは。新しく入会させていただきました中島美保と申します。写歴は10年くらいです。

最初はカルチャーセンターで小さなカシオのコンパクトカメラを使ってお花や料理を撮ってました。次にレンズ交換のできるカメラを使ってみたいと思い、オリンパスのマイクロフォーサイズのカメラでスナップやお花を撮ってました。さらにもっといろんなレンズを使ってみたいと思い、ミラーレスの一眼レフカメラと三脚を買って、風景やネイチャーを撮りました。最近やっと念願のフルサイズ一眼のカメラを買いました。

私がよく行く撮影地は、福島県や栃木県や茨城県です。春は桜を撮り、夏は川霧を撮り、秋は紅葉を撮ることが多いです。そして、冬は雪…ではなく海を撮ってます。(雪国の南会津生まれなのですが)

例会で皆さんの素晴らしい作品を見させていただき、感動しています。講師の山口先生のご指導も自分では気がつかない点を指摘していただき、とても勉強になります。今の目標は、忙しい合間に、コンテストに応募することです。なかなかできなくて困っています。よろしくお願いします。(文責 中島美保)

## 私のお気に入り撮影地

### 房総半島撮り旅

房総半島の海岸線は自宅から比較的近いために以前はよく行きました。今回撮影地の案内の原稿を依頼されましたので改めて思い出しながら再度訪れてみようかと記載することにしました。

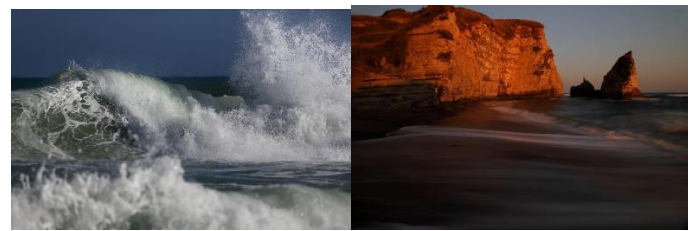
方向音痴のうえに地理常識がありませんので多少の間違ひがあるかもしれませんが容赦ください。(毎回通っていた道路が国道何号か県道かも知らず何回も迷いながらカーナビをあてにしながらも迷ってしまいます。)

今回地図帳を参考にして国道名を記載しました。写真家があまり来ないところが個人的には好みですのでそこを選んで記載しました。

まず、首都高から京葉道路をへて千葉東インターから東金道路に入ります。東金より国道126号を約10分走り東金九十九里有料道路入ります。そこから約20分で左側に国民宿舎サンライズ九十九里が見えます。

2月頃ここで降りて海岸に向かうと夕方には砂浜に夕

日を浴びた波形が見事です。(この国民宿舎は平成天皇が宿泊してから人気があるそうでなかなか予約が取れないそうです。)そこからいわゆる波乗り道路に入ります。左側に雄大な海を眺めながら一宮が終点です。そこでより128号勝浦方面に向かいます。途中日曜日は大原漁港で大規模な朝市が開催されています。見事なアワビや伊勢海老が廉価で売っておりその場で山賊焼きで勝手に自分たちで食べられます。おなかを満たしたらいよいよ御宿まで走ります。御宿ではメキシコ記念公園に駐車して県道に降りますと小さな「大波月」の案内板が見えますのでそこを海岸に向かいますと5、6分で海岸に出ます。2月早朝には朝日を浴びた赤い波頭を遠方の島を脇役として撮影ができます。さらに右側に移動すると望遠で特徴のある崖を入れて撮影すると皆さんとは一味違う写真が撮れると思います。小波月は自分的には撮影意欲は出ませんでした。



勝浦海岸

大波月

さらに国道に戻り御宿漁港の近くでも漁船を入れた撮影がのんびりできます。ここを経てトンネルをいくつか過ぎると勝浦市に入ります。最初は部原海岸ですがここでは以前にサーフィンの世界大会が行われたほどのところですので立派な無料駐車場に車をおいて荒波とサーフィンや若者を点景に海の撮影もできます。

少し休んだら勝浦灯台にナビを選びます。(途中官軍塚では展望台が素晴らしいです)その海岸線はどこもよいポイントがありますが3月には狭い道路の両側にまだ幼木ですが桜がとてもきれいです。海と灯台を絡めて桜を撮るつもりでしたが開花時期が短いので実現していません。灯台を過ぎると勝浦城址公園の入り口になります。(駐車場の下が勝浦漁港と赤い鳥居が海の中にあります)城址公園では20分歩きますが突端に行きますと遠方に灯台を見て荒波も撮影できます。

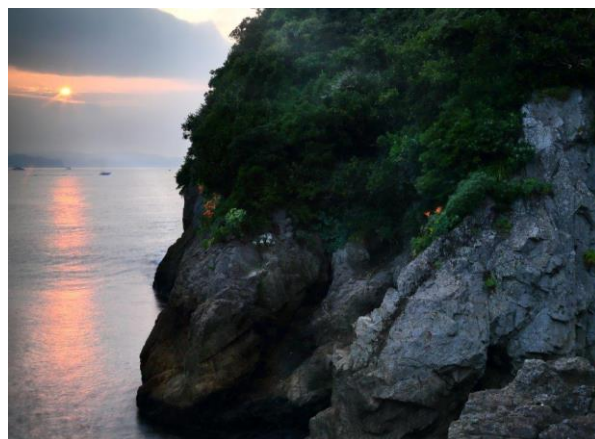
さらに国道に戻り鴨川に向かいますとトンネルを過ぎて勝浦海浜公園、鶴原理想郷の案内板が左に見えます。理想郷がポイントですが30分くらい山道を歩きますと

面白い岩や海岸線と特徴的な崖が見事に見えます。眼下には海中の大岩に当たった形状の面白い波形が撮影できます。途中地元民しか通らないがけ下に行く細い道があります。砂浜に昔、石で出来た魚のイケスのようなものがありここではゆっくり誰にも邪魔されずに撮影ができます。私はここの奇岩の大きな穴の中に朝日が入る撮影をするつもりで行き、大きな石の上で滑って大けがをしました。それ以来トラウマで行っていません。理想郷は夕日もおすすめです。さらに鴨川市に向かいますが、すぐに守谷海岸がありここでも海中に赤い鳥居があります。鴨川海岸は朝日も夕日もおすすめです。近くの岬で釣り人が見られますのでこれも絡めて撮影ができます。

湊に戻り鴨川に向かいます。市内を通過して鴨川漁港の脇を通ると鴨川松島になります。そこでは2つの島に歩いて渡れますのでそこでも撮影ができます。さらに今度は太海フラワーセンターにナビを向けます。その駐車場に車を降りてそのまま海岸の多くの岩にぶつかる波が見事です。特に風が強い日は一日中見ても見飽きずに面白い撮影ができます。すぐそばの仁右衛門島へ20メートルの間を渡し舟で渡ってもだれも見つけない写真が撮れるかもしれません。また時間があつたら館山方面に向かいますと、千倉の海岸や館山根本海岸では荒崎海岸によく似た海に張り出した洗濯板型の岩に沈む夕日が撮れます。以上、簡単ですがあまり人が来ないことが取柄の海岸線を紹介しました。



守谷海岸



鴨川松島

(文責 鈴木雍人)

## 写友広場

2022年3月から5月の間には以下の方が入選入賞されました

- 風景写真 3, 4月号 巻頭ギャラリー  
繚乱五十人桜 「発知のヒガンザクラ」 高橋清
- 月刊フォトコン 5月号 ネイチャーフォト  
中上級の部 特選 「雪舞」 高橋清
- 月刊フォトコン 4月号 ネイチャーフォト  
中上級の部 入選 「火の鳥」 高橋清
- JNP選抜展 入選  
佐々木節子 (幻想)  
須賀尾浩 (闇迫る水面)  
鈴木暎夫 (守られて)  
鈴木雍人 (紅枝垂霧幻)

(文責 戸張伸子)



鴨川海岸

鴨川に行く途中天津小湊のあたりに左側に清澄寺の大きな看板が見えます。そこを右折して約20分山道を走らせると清澄寺につきます。雨上がりには幻想的な霧が山下からかなり出ます。思わず京都の奥山にある寺院を思い起こします。わずかですがアジサイや桜、紅葉を絡めて神秘的な寺院の撮影ができます。また天津小

## 事務局より

今年11月に開催される、東京支部20周年記念作品展ですが、6月上旬に作品募集開始、7月下旬締め切りで進められると思いますので、作品の準備をよろしくお願いいたします。各人2点出品です。

### 今後の予定

#### ●東京支部第2回定例研究会

5月29日(日)

京橋区民館 銀座線京橋駅6番出口

講師 山口高志氏

#### ●「四季のいろ展」(全員参加の写真集選抜展)

6月3日(金)～6月9日(木)

富士フィルムフォトサロン東京

東京支部当番6月4日(土)前半、後半

6月5日(日)前半、後半

#### ●日本風景写真協会創立20周年関東地区セミナー

6月4日(土)

機械振興会館

講師 萩原史郎氏

#### ●東京支部初夏の撮影会

6月12日(日)～6月14日(火)

志賀高原、嬬恋村、カヤの平など

#### ●東京支部第1回特別研究会

7月9日(土)

ケンコートキナー4B

講師: 萩原史郎氏

#### ●東京支部第3回定例研究会

8月6日(土)

ケンコートキナー4B

講師: 山口高志氏

(文責 井上武夫)

## 編集後記

季節は駆け足で桜から新緑の季節へと変わっていきます。

3年ぶりに緊急事態宣言も蔓延防止宣言もでていないこの春！ いかがお過ごしでしたか？

きっと様々な今年の桜を楽しまれたことと思います。

我が家も都内だけでなく、久しぶりに新潟県や長野県に桜を求めて出かけました。

新潟では今年は残雪が多く雪の中に咲く桜に出会えました。

世の中に絶えて桜のなかりせば

春の心はのどけからまし

在原業平

ひさかたの光のどけき春の日に

静心なく花の散るらん

紀友則

皆様もよくご存じの桜を詠んだ歌2首です。

3月がくれば 今か今かと開花をまちわび、咲けば満開を楽しみにして、雨風の日は気をもみ、散る桜に心惹かれる・・・桜への思いはいにしえの人々も変わらないようです。まるで桜に恋しているかのようですね！

きっと日本人には同じDNAが脈々と受け継がれているのでしょ。

私も年をとったのか、この春 あと何回この美しい桜を見ることができるのだろうか？と思いました。これからも元気で毎年桜を楽しみたいと願いました。

満開の桜だけでなく散る桜や花筏も撮ってみたいと思いましたがなかなか思うようにはいきませんでした。

皆様は今年 どんな桜に出会えましたか？

また研究会で作品を見せていただけることを楽しみにしています。

毎日 ウクライナの戦争の悲惨なニュースを見るにつけても、平和の大切さ、ありがたさを感じます。

こうして皆様と写真を楽しめることに感謝しつつ 後書きといたします。 (文責 戸張伸子)

